

川 根 本 町

2024年12月号

図 書 室 だ よ り

12月

- ・文化会館図書室(小長井)
 - ・山村開発センター図書室(上長尾)
 - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内6コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時~午後5時
- ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(15日)・年末年始(28~1/4日)
- ☆ やまびこ号巡回6コース



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。



川根本町
インターネット
図書室
ホームページ



図書だより
バクナンバー

新着 図書



「川根本町インターネット図書室」では
新刊の詳しい情報や 蔵書の検索が可能です。

成功から意義へ
人生をシフトする



文

ポブ・ビュフォード著
東洋経済新報社

未来への準備があれば
大丈夫!



文

池上彰 著
主婦の友社



山

宮本隆治著
サンマーク出版

スマホの不安を
解決!



山

増田由紀著
アスコム

※所蔵状況 文 文化会館図書室 山 山村開発センター図書室

特集コーナー

あったか
冬じたく



【健康法・料理・あったか小物など】
からだがあたたまる本を紹介します。
えほんもあります。おうちでよんでね。



カラダ温め美人図鑑 / これが本当の「冷えとり」の手引書
お茶でかんたん飲む薬膳 / 血流がすべて / 手編みのルームシューズ / 手ぶくろを買いに
他多数



裏面へ続く

◎ 新着図書

「川根本町インターネット図書室」では新刊の詳しい情報や蔵書の検索が可能です。

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>● 『バリ山行』 松永K三蔵 著 講談社</p> <p>建装会社に、転職して2年。会社の付き合いを極力避けてきた波多は同僚に誘われるまま六甲山登山に参加する。親睦を図る目的の気楽な活動をする中、職人気質で職場で変人扱いされ孤立しているベテラン社員妻鹿があえて登山路を外れる難易度の高い登山「バリ山行」をしていることを知る…。第171回芥川賞受作</p>	<p>● 『荒れ地の種』 江上剛 著 光文社</p> <p>東日本大震災で津波による被害を受け、福島で二百年以上続く、日本酒「福の壽」を造る矢吹酒造所も何もかもすべてが流された。地震後の原発事故により、町に住むことさえできなくなった八代目の蔵元・光は、一度は酒蔵の再建を断念もするも、若き協力者と共に再び酒造りに挑む！</p>
<p>● 『サンショウウオの四十九日』 朝比奈秋 著 新潮社</p> <p>同じ身体を生きる姉妹、周りからは一人に見える。でも私のすぐ隣にいるのは別のわたし。けれど姉妹は考える、隣のあなたは誰なのか？ そして今これを考えているのは誰なのか……。医師としての経験と驚異の想像力で人生の普遍を描く。第171回芥川賞受賞作</p>	<p>● 『浅草寺子屋よろず暦』 砂原浩太郎 著 角川春樹事務所</p> <p>大滝信吾は、さる身の上を秘して、浅草寺の一角で寺子屋を開いている。浅草の四季を舞台に、家族や友人、下町の人情に支えられながら、果たして信吾は天命を見つけられるのか。</p>
<p>● 『アジフライの正しい食べ方』 浅田次郎 著 小学館</p> <p>大物作家が遭遇した海外、国内での抱腹絶倒の出来事から身近に起こるドラマチックな出来事を絶妙の筆致で描く。ソースなのか醤油なのかタルタルなのかそれとも……。表題作の『アジフライの正しい食べ方』など読み応えたっぷりの全40篇。</p>	<p>● 『またうど』 村木嵐 著 幻冬舎</p> <p>「この者は、〈またうど〉の者なりー」 徳川家重の言葉を生涯大切に続けた老中・田沼意次。彼は本当に、賄賂にまみれた悪徳政治家だったのか？ 前例や格式にとらわれず、卓見と奮迅の働きで日の本を支えた田沼意次は、なぜ突如老中を罷免され領地を失ったのかー。</p>
<p>● 『りょこうにいこう!』 五味太郎 著 偕成社</p> <p>りょこうに行ってきまーす!留守番、よろしく!と出かけたのは、なんと<おうち>だった…。</p> 	<p>● 『はっばのおてがみ』 莉田澄子 著 世界文化ワンダーグループ</p> <p>たぬきのぽんさんは、のんびり山の郵便屋さん。今日も、色とりどりのはっばのおてがみを、のんびり山の人みなにとどけます。</p> 

おすすめ図書

『あいたいなシマエナガ もりにくらすゆきのようせい』

山本光一 写真・映像 世界文化ワンダーグループ



【移動図書館車やまびこ号所蔵】

北海道でしか会えない！ 雪の妖精シマエナガ
森の中を回遊している、体長14cmほどの小鳥です。
かわいらしい鳴き声でさえざるシマエナガは
冬になると寒さをしのぐため、羽毛に空気を取り込み
膨らませます。
背中の柄もきれいで、まるっこい、かわいい姿で
見ただけで癒されます。
とっもかわいいシマエナガの写真を見て
楽しんでみませんか。

図書室スタッフK